



福島ロータリークラブ会報

【事務所】福島市栄町 5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日 12:30
 【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011
 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com



<http://www.f-rotary.com/>

本日のプログラム 新会員スピーチ

JTB東北法人営業福島支店 支店長 辺見哲郎 会員

会長あいさつ

第 8 回会長挨拶

古侯 猛 会長



今月は基本的教育と識字率向上月間となっております。世界には学校教育を受けられない子供達が 6,700 万人、読み書きができない 15 歳以上の人たちが 7 億 7,500 万人以上いるとのことであり、世界各地のロータリークラブは基本的教育の提供と識字率の向上をめざす活動に取り組んでいます。我々福島ロータリークラブとしては、直接的な活動支援はしていませんが、それらの活動の原資となるものは、ご存知のとおり、ロータリー財団への寄付行為であります。2015-16 年度、財団は 146 件のグローバル補助金、総額 830 万ドルを授与し、支援をしたそうでもあります。本年度はロータリー財団の創立 100 周年という年でもあります。今後ともご理解とご協力を宜しく願いいたします。

ちなみに世界 217 の国と地域を対象とした調査では (CIA)、日本の識字率は 99% で世界第 28 位だそうです。1 位は北朝鮮、ノルウェー、フィンランド、バチカン市国、キューバなどの国で限りなく 100% に近いんだそうです。逆に識字率の低い国は、南スーダン、アフガニスタン、マリ、エチオピア、ソマリアなどが、27 ~ 28% 程度の識字率のようです。日本の識字率は一説によると世界一ともいわれております。特に江戸時代当時においては日本の就学率、識字率はともに世界一、江戸の就学率は 90% に近く、裏長屋に住む子供でも手習いへ行かない子供は男女ともにほとんどいなかったといわれます。これに対して、当時のイギリスの大都市での就学率はわずか 25% 程度で、19 世紀中頃のイギリス最盛期のヴィクトリア時代でさえ、ロンドンの下層階級の就学率は たった 10% 程度であります。日本では「ひらがな」「カタカナ」「漢字」の 3 つを学び、小さい頃から使用します。たった 26 文字のアルファベットしか使わない欧米に比べて、かなり難しい言語を幼少期から操っている我々日本人は、少しぐらい英語が苦

例会次第

- 開会点鐘 古侯 猛 会長
- ロータリーソング「我等の生業」
ソングリーダー 菅野 晋 会員
- 「四つのテスト」唱和 安斎圭一 会員
- 会長あいさつ 古侯 猛 会長
- 食事
- 幹事報告 菅野裕一 幹事
- 各委員会報告
 - プログラム・ニコニコBOX小委員会
 - 10月プログラムご案内 氏川守義 委員
 - ニコニコBOX 田沼紀美子 委員
- ◎本日のプログラム
- 開会点鐘 古侯 猛 会長



例会プログラムのご案内

- 9月15日(木) 12:30 ~ 辰巳屋
ガバナー公式訪問前クラブ協議会
- 9月22日(木) 祝日の週のため休会
- 9月29日(木) 辰巳屋
佐久間英一ガバナー公式訪問例会
◎会長・幹事会 / 9:30 ◎クラブ協議会 / 10:30 ◎例会 / 12:30

幹事報告

その他のお知らせ

- 9月理事会議事録を配布しております。ご確認下さい。
- 2017年4月に福島市にて開催予定の日台友好親善コンサート実行委員会名簿を配布しております。近々、実行委員会の開催等ご協力を頂くこととなりますので、宜しくお願い申し上げます。
- 10/6クラブ新会員セミナーが開催されます。該当者に FAXにてご案内を差し上げておりますが、一般会員でご希望の方も歓迎致しますのでその際はお申し出下さい。

手でも、そういう意味では、もっと誇りをもっていいのではないかと感じたところでもあります。

最後になりますが、今月は 29 日 (木) にガバナー公式訪問が開催されます。間近でガバナーのお話しを聞ける数少ない機会でもありますので、どうか多くの出席をお願いをしまして、会長挨拶といたします。

新会員スピーチ

(株)JTБ東北 法人営業福島支店 支店長 辺見哲郎 会員



ただ今ご紹介いただきました、(株)JTБ東北 法人営業福島支店、辺見でございます。伝統ある福島ロータリークラブにこの4月に入会をさせて頂きました。改めて御礼を申し上げますと共に、本日は新入会員スピーチということで、貴重なお時間を

頂戴し、誠にありがとうございます。重ねて御礼を申し上げます。

本日は、弊社の社業であります旅行・観光のお話を織り交ぜながら私の簡単な自己紹介を進めさせて頂きたいと思っております。宜しく願いいたします。

辺見という苗字は国内でも決して多い方ではありません。この会場においでの皆様は世代ですと「辺見マリ」さん、私に近い世代の皆様ですと「辺見エミリ」さんといった芸能人が有名ですが、残念ながら何の縁もございません。私は「宮城県仙台市」の生まれですが、福島県、宮城県など東北地方には比較的多い姓だそうでございます。また、辺見家の墓は、山形県の鶴岡市にございまして、祖父も父も転勤族であったものの、代々、生活の基盤は東北の地だったという事です。

さて私は、昭和43年仙台市にて生まれました。父と母は損害保険会社に勤めておりました、職場結婚であったと聞かされました。しかし、私を生んだ母は私が生まれて1年半後には他界をしております、29歳という短い命でした。幼い私にはそんな記憶は当然ありませんでしたので、その事実は大学入学の為に上京をしてから、父から電話で聞かされました。大変なショックを受けた記憶がございます。以来、家族や人とのご縁を大切に、という事を念頭に生きて参りました。父も14年前に他界いたしましたので、現在、仙台で一人暮らしをする母親には返しても返し尽くせない恩を感じております。

そんな経験がございますので、これまで会社の部下、仲間には「家族・家庭を大切すること」を説いて指導をしております。ともすると日本人は家庭を顧みずに仕事に専念、没頭することを美德として捉えがちです。勿論、そういう考え方を全否定する訳ではありませんが、家族・家庭があってこそ己があること、家族・家庭の幸せなくして社の幸せはない、と説いております。

幼稚園・小学校の8年間は長野県の松本市で過ごしております。今思い返しても、本当に素敵な街、良い土地だったと思います。旅行でお訪ねになった事がある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

松本市には浅間温泉、美ヶ原温泉、扉温泉といった温泉地や、北アルプス、美ヶ原、上高地などの山岳観光名所、国宝松本城、旧開智学校、安曇野など多くの観光資源に恵まれた土地です。

昨今は「登山」ブームで、老若男女を問わず、多くの山を楽しむ方々で賑いを見せています。また今年は、先日職場見学をさせて頂きましたNHK様の大河ドラ

マ「真田丸」が大ヒットしており、真田家縁の町・佐久や上田までもほど近く、松本城は真田の居城という訳ではありませんが、信州・松本はこの夏も非常に高い来客数データを残しております。また、その美しい風景や気候がドラマのロケなどにも適しているらしく、多くの映画・ドラマが撮影される街としても名を馳せる様になりました。もし、未だお越しにならなかった事がない方には、一度はお訪ね頂きたい場所です。おススメは初夏が宜しいと思えます。福島と同じ盆地ですので、夏は大変暑く、冬は水道管も凍るほどの厳しい冷え込みがあります。

中学・高校時代は仙台で過ごしました。生まれも仙台でしたが、今回は父の転勤先がたまたま仙台だったという事です。仙台についてはご存知の方も多いと存じますので、簡単に済ませたいと思えます。

高校は仙台第一高等学校という学校に入学しました。井上ひさし先生はこの学校の大先輩でいらっしゃいますが、その著書「青葉繁れる」は、先生の在学中のエピソードを基に描かれた作品です。

仙台一高は2010年に共学化するまでは、公立校の男子校で、自由な校風とパンカラな伝統を持った学校です。下駄をはいて通学する者、バイク通学する者、先輩から代々引き継いだつぎはぎだらけの学ランを着た年中ハダシの応援団、私服など生徒の自主自律を重んじる学校でございました。

私は3年間硬式野球部に所属し、勉強より野球中心に過ごした思い出がありません。高校2年の時は上級生の活躍で、後にシアトルマリナーズで大活躍された佐々木一浩さん率いる東北高校に勝利して春の県大会優勝、高校3年の時は夏の甲子園予選では準決勝まで駒を進めました。とはいえ、高校2年からベンチ入り致しましたが、高校3年の時もベンチウォーマーとして最後の試合を迎え、常にレギュラー陣を応援する側であった事も付け加えさせて下さい。

父と母が高校野球好きだった事もあり、子どもの頃から高校野球には殊更思い入れがございます。小学生の頃、夏休みといえば甲子園、テレビのスピーカーの前にラジカセを置き、出場校の校歌を録音しては記憶し、口ずさんでいる様な子供でしたので、この2月、福島への着任時に福島駅のホームに降り立った時のことは今でも忘れられません。そうです。福島駅の新幹線ホームの発着ベルが、古関裕而先生作曲「栄冠は君に輝く」でした。まるで甲子園に着いた時の高校球児の様な心境と言うべきなのか、あるいは初めての単身赴任の私への応援ソングなのか、そんな不思議な感覚を覚えながら改札に向かいました。

時計を少し戻します。浪人を経て、東京の私立大学に進学、後、就職致したのは、1993年、平成5年の事です。ご記憶の方も多いかと存じます。当時弊社は「日本交通公社」という社名でございました。現在、私が勤務しておりますのは「JTБ東北」という会社でございますが、当時は全国採用でしたので、4月1日の入社式、配属式でどこに配属になるのか皆目見当もつかず、戦々恐々と致しました。

私の最初の着任地、横須賀・三浦半島についてご紹介

介をさせて頂きたいと思います。横須賀、三浦にお越しになった事がある方はどの位おいでになるでしょうか。関東のほぼ最南端、伊豆半島と房総半島に挟まれた小さな半島です。

軍港の町ヨコスカというイメージはどなたもお持ちだと思えます。アメリカ海軍と自衛隊が駐留し、そして東京や横浜までも鉄道・高速道路がひとつつながり、ベッドタウンとして発展して来たのが横須賀という町です。第二次大戦後は進駐軍・在日アメリカ軍横須賀海軍施設の兵隊向けのスーパーショップ(土産物店)、バーや飲食店、テラーショップなどが流行り栄えました。

1960年代、ベトナム戦争の頃と比較すると米兵向けのバーや飲食店は数を減らしましたが、2000年代には日本人の若者向けアパレルショップ・美容院・アクセサリーショップなどが栄え、横須賀ならではのスカジャン専門店やミリタリーショップなどが観光客の人気を博し、アメリカと日本の文化が融合した独特の雰囲気を持つ商店街が、今の観光名所「ドブ板通り」と呼ばれる場所です。「海軍カレー」・「ネイビーバーガー」といった名物グルメも最近では流行し、観光客に人気です。

おススメしたい横須賀の見どころのもう一つに、「三笠公園」がごぞいます。日露戦争で連合艦隊の旗艦として活躍した、戦艦「三笠」が保存、公開されています。小説・ドラマ「坂の上の雲」にも登場した戦艦です。当時の姿を今でも見られるのは大変貴重な場所だと思えます。そしてこの戦艦三笠に縁のある日本史上の偉大な軍人の言葉が、横須賀で勤める若い営業マンの私の心に強く残りました。そしてその言葉は今でも若手社員に向けての言葉としてたまに引用させて頂いております。

「愚直と笑われるとも、終局の勝利は必ず誠実な者に帰すべし」

私は、愚直という言葉、言い換えれば一途さ、バカ正直さという事だと理解しました。そして誠実さは文字通りです。弊社の環境を見まわしたとき、いえ、もしかしたら、日本社会を見回した時、機能やシステムはますます高度になり、便利さや効率性が優先されている現代、「愚直」さを見落としてはいないだろうかといつも考える様になりました。日露戦争で最高司令官であった東郷平八郎が今の世にいらっしゃったらどんな舵取りをされるのでしょうか、そんな気づきを得た町が私の初任地、横須賀という町です。

横須賀支店時代の私の主なマーケットは三浦半島の先端にあります、三浦市という町でした。

三崎マグロと言えば、日本でも有数のマグロ漁港、三崎港をご存知の方もいらっしゃると思います。台風が関東直撃の予報の際には必ずと言っていいほど、テレビ局の中継車が入る場所です。東京・品川駅から特急ならば1時間強、横浜からも50分で着く場所ですが、自然豊かな実にのどかな土地でした。三浦ダイコン、スイカ、カボチャといった野菜の産地ですが、私がこの町で出会ったのは、今趣味にしているランニングです。

私の趣味について少しご紹介いたします。

毎年、3月の第一日曜日にこの三浦市で開催される

マラソン大会が「三浦国際市民マラソン」と言います。ハワイで開催される世界的なイベント「ホノルルマラソン」の姉妹レースとして、日本で唯一公認されている人気大会です。三浦半島には平地が少ない為、稲作にむかず畑作が多いことは先ほどお話しをさせて頂きました。そんな立地環境ですので、アップダウンが異様に激しく、フルマラソンではありませんが、過酷さが有名なハーフマラソン大会でもあります。しかし、天気の良い時には東側、東京湾の先に房総半島、西側、相模湾の先には富士山、北には丹沢の山々が見え、走る道は北海道の如く野菜畑が広がる風景がランナーを虜にするのでしょうか。私も1999年以来出場を続けております。福島に来てから、忙しいながらも何度かランニングを致しました。阿武隈川、あづま運動公園、信夫山など車で走るだけでは見えない魅力も沢山見えてくるのが、ランニング・ウォーキングの良いところです。先日、人間ドックで肝機能障害、血圧、体重超過と運動不足を指導されてしまいましたので、これからは、もう少し体を動かさないとなりません。

これまで何度かの自己紹介の機会でもお話しをして参りました通り、福島着任の前、直近は横浜で勤務を致しておりました。妻と中学1年生の息子は横浜に残して参っております。

横浜には、中華街やみなとみらいをはじめ、沢山の観光地、名所、旧跡がごぞいます。皆様方にはもう十分ご存知の事も多い事と存じます。この場では宣伝という訳ではございませんが、宿泊施設を一つご紹介いたします。機会がございましたらロータリアンの皆様にはぜひお泊り頂きたい施設が「ホテルニューグランド」さんです。

大正12年の関東大震災の大被害を受けた横浜の地に、震災瓦礫で埋め立ててできた観光名所、山下公園に隣接し、昭和2年に震災復興のシンボルとして開業した大変歴史のあるホテルです。マッカーサー元帥やチャーリー・チャップリン、ベーブ・ルースをはじめ、多くの著名人がご宿泊しています。1992年には横浜市歴史的建造物に指定、2007年には経済産業省が選んだ近代化産業遺産の認定を受け、ヨーロッパアンティストをコンセプトに、横浜・山下公園前のランドマークとして親しまれています。

サザンオールスターズの歌の中に登場する「シーガーディアン」というバーもこのホテル内にあります。若い方からご年配のお客様にも愛され、日本人にも外国人にも変わらず愛される、ザ・ヨコハマを感じられる場所ではないかと私は思っております。そして、「横浜ロータリークラブ」様は、ここホテルニューグランドで例会を開催されておられますので、この会場においでの皆様には少なからず縁のある施設だと存じます。

ご承知の通り、弊社業務には添乗という業務があり、お客様のお供をさせて頂く機会も多いのですが、その中で印象的な国を最後にご紹介致します。

2012年にスリランカを訪ねました。日ス国交樹立60周年を記念して、100%の日本支援によってコロomboに建設されたスリランカ史上初となる野球場で、完成記念式典が開催される為でした。式典はスリランカ大統領のご子息、国会議員、在スリランカ日本国大使、スポーツ省大臣をはじめ多くの参列者を迎えて行われ、こけ

ら落としとして、神奈川県高野連選抜チームとスリランカナショナルチームとの交流試合が行われました。

「スリランカ」とは現地の言葉で「光り輝く島」という意味だそうです。「セイロン」という名前の方が馴染みのある方もおいででしょうか。古代から仏教王国として栄え、現在も世界有数の遺跡群が残っております。これらの史跡、自然保護区などを含め全部で8か所が「世界遺産」として登録されています。第二次大戦後のサンフランシスコ講和会議において、当時空襲、侵略をした日本国に対して大きな慈悲をもち、憎しみの連鎖こそが戦争につながる、というブッダの教えを引用し、世界に寛大な精神をもとめたのがスリランカ国だったと教えて頂きました。この会議のお陰で日本は国際社会復帰への道筋が作られたという事です。この会議においてスリランカの大統領の発言が無かったら今の日本は無かったのかもしれませんが。東日本大震災時にはスリランカから100万ドル、名産である紅茶のティーバッグが300万個贈られたそうです。またこの6月、ロータリーの記念すべき事業の一貫としては、海外7つ目の米山学友会がスリランカに誕生致しております。大変に喜ばしい事だと思います。

さて、日本国内は今、空前のインバウンド(外国人の訪日旅行)ブームでもあり、それは日本の観光戦略の一つでもあります。しかし残念ながら、東北、とりわけ福島にはその波が来ているとは言えず、復興も道半ばと言わざるを得ません。

安倍首相が3月の会見で東北の観光復興元年とうたい、2020年には昨年の3倍、東北150万人泊の実現を目指すと言いました。先日、内堀知事はオリンピックの野球・ソフトボール競技の福島開催を正式要請されました。観光業に留まらず、2020年を待たずして福島の復興を叶える為にすべき事、チャレンジすべき事は山積していると考えております。微力ながら、弊社も地域の為に尽力を致します。

弊社のスローガンは、「感動のそばに、いつも。」と申します。

お客様に感動を提供するため、近しい存在であり続けること。お客様が感動で満ち足りたとき、その傍らには我々がいること、ありたいと思う事です。

私たちは、地球を舞台に自然、文化、歴史とのふれあいや人々の交流を創造し、お客様に感動と喜びを提供します。

私たちは、お客様と共に歩んできた100年を大切に、これからも「価値ある出会い」を創造し続けます。

この会場においでの皆様には比喩に比べればまだまだ若輩でございます。福島ロータリーでの出会い、ご縁を大切に、精進して参りたいと存じます。東北・福島の復興を叶え、子供たちの明るい未来創りの為に努めて参ります。

今後とも宜しくご指導賜ります様お願いを申し上げます。本日のスピーチを終らせて頂きます。

本日は貴重なお時間を頂きまして本当にありがとうございました。

私のひとこと

安藤錬雄 会員



遠くて近い国

思えば71年前の8月15日、私は異国の地、南国のハルマヘラ島にいました。同じくして、極寒の地シベリア終戦となり抑留された仲間達。

シベリア開発で大森林を伐採し、シベリア鉄道の路線造り、パン1枚を与えられ、栄養不足・疲労により倒れ亡くなった方も大勢おりました。

そんな日本人の苦労があって、大草原の真ん中に線路が敷かれたのがシベリア鉄道です。現在は、草原の中に只1本の杭木が残っているだけです。日清・日露前の杭木であり、只々驚くばかりでした。驚くことはまだあります。ロシアの戦勝記念碑です。激しい戦争があった熊笹峠に、今も日本の方角を向いて大砲が砲台に立っています。複雑な心境を抱きつつ、現実かなと思いました。

真岡郵便局を見学し、悲しい出来事を知りました。ソ連軍の艦砲射撃を皮切りに真岡に進撃し、日本軍は降伏しました。大勢の日本人が殺され、そんな中、重要任務に就いていた9人の電話交換手は最後まで残りましたが、ソ連軍が迫り来る中、大和撫子として誇りを守るため、全員が集団自決をしました。

悲劇の旧郵便局が、今もなお郵便局として設けられておりました。私達は、ご冥福を祈りながら手を合わせ、旧真岡地を後にしました。



ニコニコBOX報告 (報告)田沼紀美子 委員

本日のニコニコBOX投入額 32件 ¥62,000 累計 ¥673,000

古侯 猛 会長

辺見哲郎新会員スピーチ楽しみです。温帯低気圧となった台風が近づいております。皆様お気をつけ下さい。本日も宜しくお願いします。

辺見哲郎 会員

本日はスピーチさせていただきます。宜しくお願い致します。ありがとうございます。

森川英治 会員

先週の土曜日、初孫のお宮参りに行って来ました。娘が大学時代4年間、巫女のアルバイトをさせていただいた神社だったので、大歓迎していただき、気持ち良くお宮参りをすませることが出来ました。

丹治正博 会員

去る4日(日)に、パンダハウス増築工事の地鎮祭が現地で行われ、明年3月末の竣工までの工事安全を祈願する祝詞を心を込めて奏上いたしました。

他クラブ会員より/安齋圭一/氏川守義/浦部 博/岡田新也/小原 敏/加藤義朋/加納武志/五阿弥宏安/相良元章/佐藤康太郎/佐藤英典/佐藤美奈子/佐藤良智/白岩康夫/田沼紀美子/土屋敦雄/坪井大雄/鶴丸直久/野原邦亮/信国一朗/幡 研一/船本 勝/増子勉/茂木正志/森岡幸江/森 洋一/八子英器/山内 功